

▼スマイラフ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ペフィシチニブ臭化水素酸塩 Peficitinib Hydrobromide 【分類】関節リウマチ治療薬 [JAK 阻害剤]

【単位】▼50mg・▼100mg/錠

【常用量】150mg/日 [状態により 100mg/日]

■中等度の肝障害：50mg/日

【用法】1日1回（食後）

【透析患者への投与方法】常用量（1）

【保存期 CKD 患者への投与方法】常用量（1）

【特徴】JAK ファミリーを阻害し、炎症性サイトカインのシグナル伝達や細胞増殖を抑制。

【主な副作用・毒性】上咽頭炎、帯状疱疹、肺炎、血球減少、消化管穿孔、肝障害、間質性肺炎、頭痛、消化器症状、皮膚症状、CK 上昇など

【安全性に関する情報】悪性腫瘍の発現注意（1）有害事象として好中球減少、頭痛、腹痛がメイン（Cao YJ, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2016 PMID: 27162173）

【モニターすべき項目】投与前に B 型肝炎チェック（1）投与開始後は定期的に血球、肝機能、脂質などをチェック（1）

【吸収】空腹時投与で AUC 低下（1） $ka=5.83/hr$ （1）食事により AUC が 27% 上昇（Cao YJ, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2016 PMID: 27162173）

【F】データなし（1）

【 t_{max} 】1~2hr（1）

【代謝】SULT1 により M2 に、NNMT により M4 に代謝され、さらに M1 に変換（1）

代謝物の活性は弱い（1）

【排泄】尿中回収率 36.8% [po, 216hr まで]（1, Oda K, et al: Xenobiotica 2015 PMID: 25986538）

P-gp の基質（1）M2 は BCRP, MRP4, OATP1B1, OATP1B3, OAT3 の基質（1）

【CL/F】91.7L/hr（1）

【 $t_{1/2}$ 】3.7~7.5hr（1）

【蛋白結合率】73~75% [Alb]（1）

【Vd】資料なし（1）

【MW】407.30

【透析性】資料なし（1）

【O/W 係数】

【相互作用】CYP2C8, 3A を時間依存的に阻害（1）OATP1B1 を介する相互作用認めず（Zhu T, et al: Clin Pharmacokinetics 2017 PMID: 27878567）ベラパミル併用で AUC が 1.27 倍に上昇（Zhu T, et al: Clin Pharmacol Drug Dev 2017 PMID: 28301084）

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】妊婦禁忌、授乳中止（1）

【主な臨床報告】

【更新日】20220328

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。